

2020年7月31日
イオンフィナンシャルサービス株式会社
株式会社イオン銀行

社会貢献債(ソーシャルボンド)への投資について

イオンフィナンシャルサービス株式会社(代表取締役社長：藤田健二、以下、当社)の子会社である株式会社イオン銀行(代表取締役社長：新井直弘)は、独立行政法人国際協力機構及び、東日本高速道路株式会社が発行する社会貢献債(ソーシャルボンド)への投資を行いましたので、お知らせいたします。

ソーシャルボンドとは、社会的課題の解決に資する事業の資金調達を目的とし発行される債権で、ESG(環境・社会・ガバナンス)投資の対象となります。

当社では、「金融サービスを通じ、お客さまの未来と信用を活かす生活応援企業」という経営理念のもと、ステークホルダーの期待に応え、社会の持続可能な発展に貢献する企業集団を目指しております。

今後も、ソーシャルボンドなどのESG投資を通じ、社会の発展への貢献を目指してまいります。

【概要】

銘	柄	第53回国際協力機構債券
発行	体	独立行政法人国際協力機構
年	限	10年
発行	額	100億円
発行	日	2020年6月26日
資金	使途	①開発途上地域の経済成長の基礎及び原動力の確保、 ②開発途上地域の人々の基礎的生活を支える人間中心の開発推進 ③普遍的価値の共有、平和で安全な社会の実現 ④地球規模課題への取組を通じた持続可能で強じんな国際社会の構築

銘	柄	東日本高速道路株式会社第73回社債
発行	体	東日本高速道路株式会社
年	限	10年
発行	額	500億円
発行	日	2020年7月17日
資金	使途	①高速道路の新設・改築 地方圏の産業・観光投資を誘発する都市・地域づくりの推進 ②高速道路の修繕・災害復旧 切迫する巨大地震・津波や激甚化する気象災害へのリスク軽減、交通安全の確保、環境保全の推進 ③高速道路の特定更新 インフラの老朽化対策

以上